

タスクバー

1 タスクバーの機能

タスクバーは、デスクトップ最下部に表示される横長の領域で、ウィンドウを切り替えたり、よく使うアプリのアイコンを登録して素早く起動したりします。

(1) 各アイコンの説明

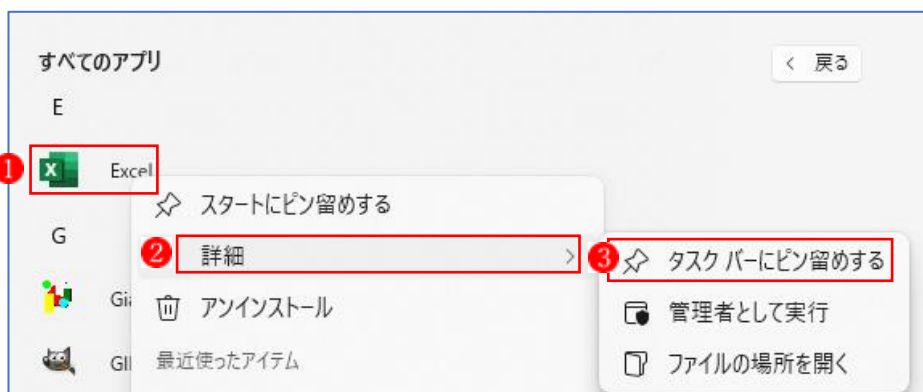


	名称	説明
①	スタート	スタートメニューを表示します。
②	検索	アプリやファイルの検索ができます。
③	タスクビュー	起動しているアプリとデスクトップを表示します。
④	ウィジェット	天気予報や最新ニュースなどをすばやく確認できます。
⑤	設定	Windows 11 の様々な設定が行えます。
⑥	エクスプローラー	エクスプローラーが開きます。

(2) タスクバーに「よく使うアプリのアイコン」をピン留めする

タスクバーによく使うアプリのアイコンを登録しておくで、すばやくアプリを起動することができます。

- ① スタートメニューからすべてのアプリを表示し、「よく使うアプリ」（ここでは Excel）のアイコン①の上で右クリック→マウスポインターで「詳細」②→「タスクバーにピン留めする」③とたどり、最後にクリックします。



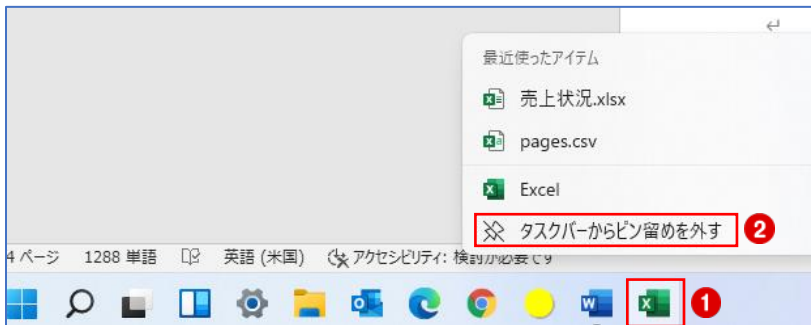
- ② タスクバーに Excel のアイコン④がピン留めされます。



★ タスクバーのアイコンは、アイコンをクリックしたままドラッグ&ドロップすることで好きな場所に配置できます。

(3) タスクバー上にピン留めした「よく使うアプリのアイコン」を削除する

- ① タスクバー上からピン留めを外したいアプリのアイコン（ここでは Excel）**①**の上で右クリック」します。

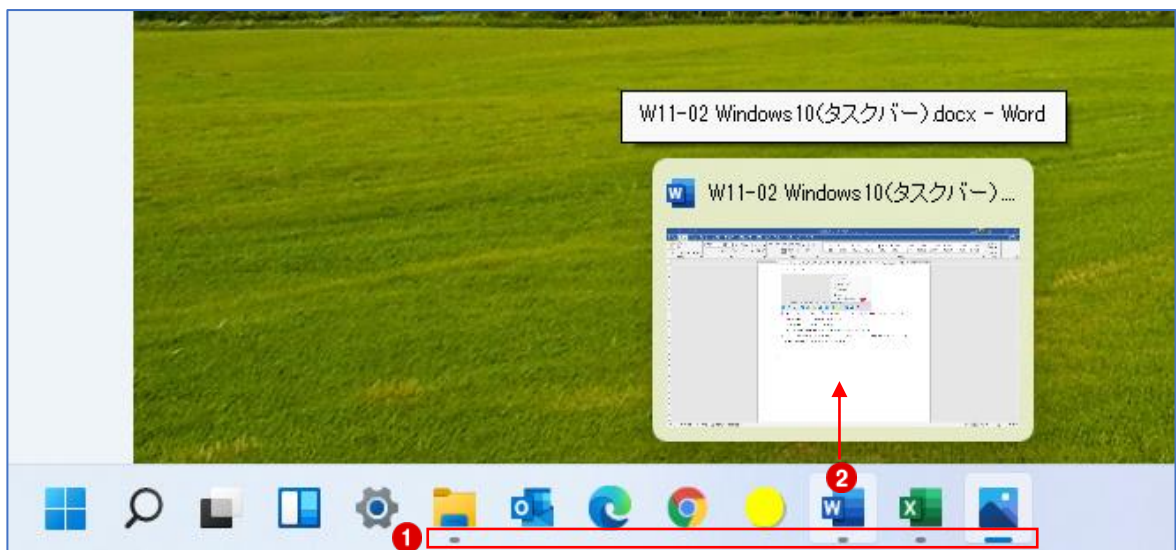


- ② 右クリックメニューから「タスクバーからピン留めを外す」**②**をクリックします。
→ Excel のアイコンが削除されます。

(4) タスクバーでアプリを切り替える

タスクバーは起動中のアプリを切り替えるときにも利用します。

- ① アプリを起動するとタスクバーにアイコンが表示されます。起動中のアプリには、アイコンの下に線が表示**①**されて一目で判別できます。



- ② 複数のアプリを起動していて、アプリの画面が隠れているときには、タスクバーで使いたいアプリのアイコンをクリックします。なお、起動中のアプリのアイコンの上にポインタを重ねるとサムネイル**②**が表示されるのでアプリの画面が確認できます。

2 タスクバーの設定

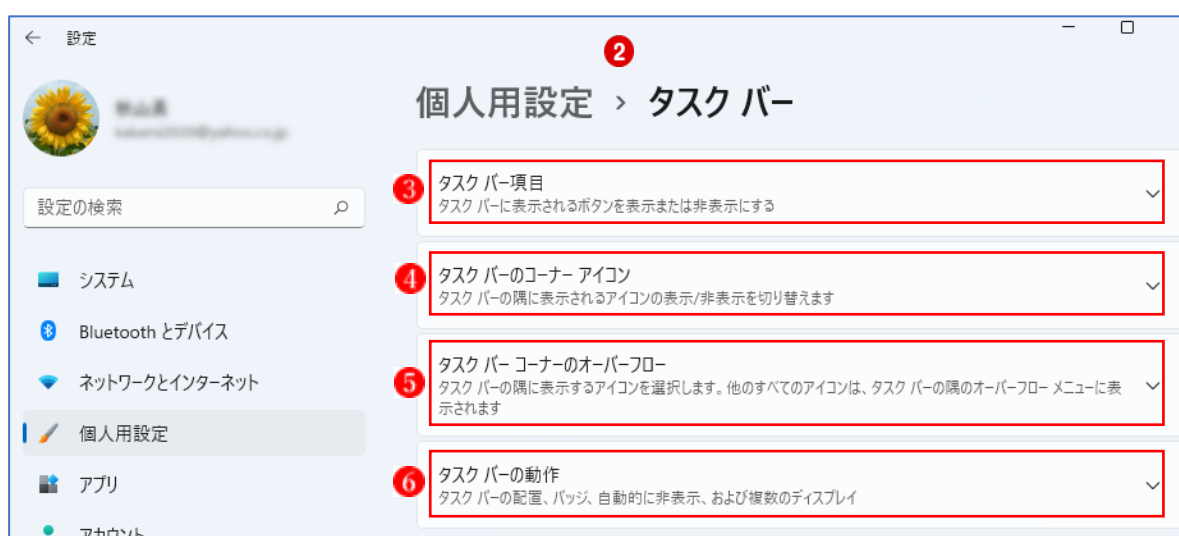
タスクバーは詳細な設定を行うことができます。

(1) タスクバーの設定画面

- ① タスクバーの上で右クリックすると、<タスクバーの設定>¹が表示されます。



- ② <タスクバーの設定>をクリックすると、「タスクバー」の設定画面²が表示されるので、ここでさらに詳細な設定を行うことができます。



(2) タスクバーの詳細設定

- ① <タスクバー項目の設定>³では、<検索>アイコン、<タスクビュー>アイコン、<ウィジェット>アイコン及び<チャット>アイコンの表示、非表示の設定ができます。



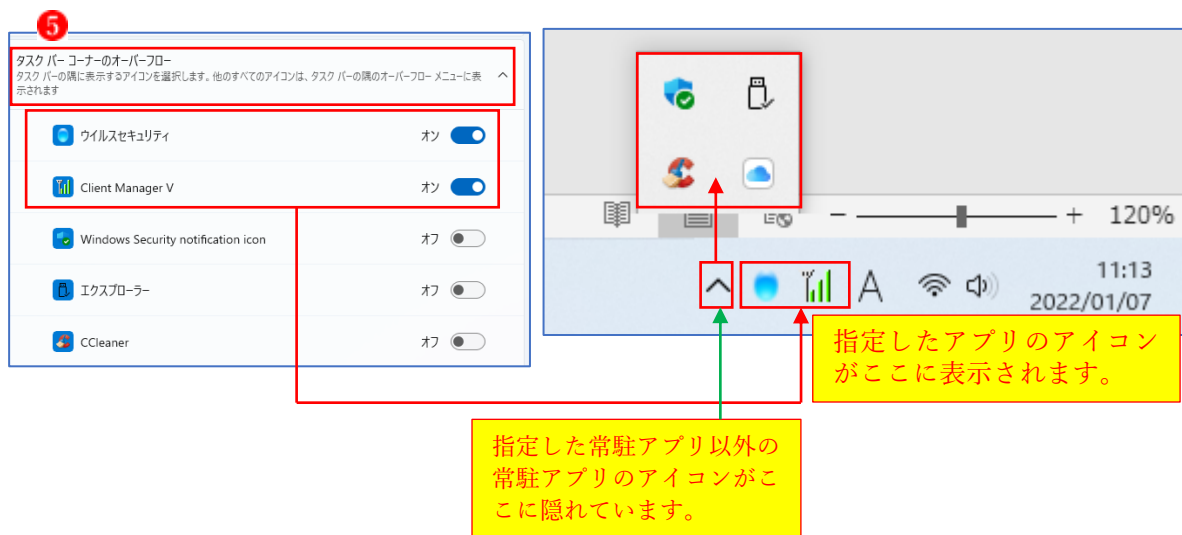
- ② <タスクバーのコーナーアイコン>⁴では、<「ペン」メニュー>、<タッチキーボード>、<仮想タッチパッド>アイコンの表示、非表示の設定ができます。



③ 常駐アプリの設定

＜タスクバーコーナーのオーバーフロー＞⁵では、常にタスクトレイに表示する常駐アプリを指定できます。ここで指定したアプリ以外の常駐アプリは、タスクバーの隅のオーバーフローメニューに表示されます。

★ なお、隠れているアイコンは、タスクバーのアイコン表示領域へドラッグ&ドロップすることによりタスクバー上に表示させることもできます。



④ ＜スタートボタン＞を左端に表示する

画面中央に表示される＜スタートメニュー＞や＜スタートボタン＞は、＜タスクバーの動作＞⁶の＜タスクバーの配置＞から＜左揃え＞を選択すると、従来の Windows 10 のように左端に配置することができます。



3 ＜クイック設定＞で設定を変更する

Windows 11 には、Wi-Fi への接続や夜間モードへの切り替えなど、よく使う設定をまとめた＜クイック設定＞画面があり、表示されたボタンをクリックするだけで、すばやく設定のオン/オフを切り替えることができます。

また、音量や明るさの調整、バッテリーの残量を確認することもできます。(※明るさやバッテリー残量の確認はノート PC のみの機能です。)

